



図書館だより

令和5年9月8日

港区立 青山中学校

学校長 中田 和直

学校司書 三島 裕美

図書館支援員 武田 優子

塩野谷恭輔

2023年9月号

昼間はまだ暑さが残りますが、朝晩の風から少しずつ秋を感じるようになりました。充実した夏休みを過ごすことはできましたか。夏休み中にどのような本を読んだのか、ぜひ皆さんの感想を聞かせてください。

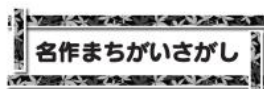
夏休み貸出の返却期限は9月8日（金）でした。



過ぎています！

まだ返却していない人はすぐに返却してください。

また、利用ルールは通常に戻っていますので、気をつけてください。



『69 sixty nine』

村上龍



“僕”は自主制作の映画で、学年一の美少女を白馬に乗せて登場させたいと、無茶な思いつきを語ります。それを真剣に聞いていた仲間の山田は「白馬は無理だが、巨大な白い秋田犬なら近所にいる」と的外れな提案をするのでした。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。

作品の概要・解説
「僕」と仲間たちが引き起こす騒動を描いた、爽快で笑いに満ちた自伝的青春小説です。
学生運動が盛んに行われ、時代を変えていた、一九六九年。長崎県佐世保市に暮らす高校三年生の「僕」は音楽や映画にかぶれ、堅実な進学など考えられずにいました。
学年一の美少女を主演女優にスカウトして自主映画を制作したり、学校の屋上をバリケード封鎖したり、自らが考案したフェスティバルを実行するために奔走したり、一年間はあつという間に過ぎていきます。
作者の村上龍（一九五二年〜）は、一九七六年に芥川賞を受賞した『限りなく透明に近いブルー』でデビューして以来、サッカーや経済、社会問題など、時代ごとのさまざまな話題を積極的に取り入れ、多くの作品を著しています。また、自分の作品の映画監督や、テレビ番組の司会などでもマルチに活躍しています。代表作には『コインロッカー・ベイビーズ』『希望の国のエクソダス』『13歳のハローワーク』などがあります。

正解は図書館内に掲示しています。

お知らせ

9月から司書が三島裕美に変わりました。また、開館時間も変更しています。下に書いてありますので確認してください。

支援員スタッフは引き続き、武田優子、塩野谷恭輔が担当します。
2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

開館時間 *変更しています!

月・水・金

AM 11:15~PM 4:45

火・木

AM 10:15~PM 4:45

図書館利用上のご注意

現在、海外文学単行本の移動作業を行っています。以前と場所が変わっているかもしれません。わからないときは図書館スタッフまでおたずねください。



今月の展示

☆○○の秋～読書？スポーツ？食欲？勉強？

☆🍷敬老の日🍷 ~九月一八日は敬老の日~

九月の第三月曜日は敬老の日。今年も九月一八日です。高齢者に敬意を表する祝日は世界各国にあります。中国をはじめ東アジアでは九月九日が長寿を願う重陽の節句として祝われてきました。現代日本でも高齢化にともなう社会課題は山積みです。お年寄りへの敬意を忘れることなく、こうした課題について考える機会を持ってみてはどうでしょうか。



おすすめの本「スポーツの秋」

『小説ブルーロック』 913/ヨ

金城宗幸/原作 ノ村優介/絵 吉岡みつる/文 (講談社)



日本フットボール連合がW杯優勝のために設立した「ブルーロック」は、エゴイズム(自分の利益を優先し他者を省みない)あふれるストライカーを育成する寮。そこに集められたのは、300人の有名無名の高校生FW(フォワード)。非情ともいえるセレクションに挑み、たったひとつの椅子を目指す。

『1R1分34秒』 913/マ

町屋良平(著) (新潮社)



2019年芥川賞受賞作品。主人公は挫折したボクサー。「スポーツの秋」的な爽やかさとはかけ離れた内面の吐露と、それとは対照的な文体のストイックさがボクシングというテーマにマッチしていて、一気に読める作品です。

『ふたりのえびす』 913/夕

高森美由紀(著/文) (フレーベル館)



青森県八戸市の郷土芸能「えんぶり」のえびす舞の踊り手に指名され、仕方なく練習を始める太一と自ら立候補して練習にのぞむ優希。本音を隠していた太一と周りのイメージを壊したい優希が練習を通して激しくぶつかり、誤解を解こうともがき、気づけば必死に舞の上達を目指していた。一見、スポーツらしくないけれど、熱い熱いスポ魂作品です